

ちよゑ

第5号(1999年8月發行)

日頃の精進の成果を存分に発揮

平成十一年度昇伝審査会を開催

の道、先が長いということだと理解し、永続するよう誓った次第です。『絵は有形の詩、詩は無形の絵』といふ遠藤先生の言葉は、詩の本質をつくものとして印象的で、吟の詩情のとらえ方の大切さを感じさせられました。

様の良い評をいただき、気を良くしたことでした。大会で、また、大勢の前でなくてよかったです。思いと、普段の練習の大切さを感じた一日でした。

名が受審。吟歴一年の鈴木さんは十三歳。ハザマ教場から来たが、全員が日頃教場で吟じていないと、誰も発声。音程。アカセントといずれも見違える程立派に吟じたのに驚かされた。多分家庭での熱心な練習の成果だと思ふが、まさに、ハザマ教場の本番に強いところを立証したのだ。

私の健康法

前号に引き続きエニーケー
な健康法をご紹介します

信条として、こうあるべき倫理感覚を大切にする。言う事はハッキリ言って、何事にも前向きに対処していくことを心がけている。頭の体操は読書。気に入った意見は、書き留めて折々に反芻してみる。好きな庭いじりの合間に、腹から声を出す練習。心平静に、わだかまりを残さぬよう努めている。子に頼る心捨てをり菊根分け

泳と滑空訓練で鍛える
清水教場 清水 陽之助

恒例の昇伝審査会が、五月二十九日（土）に労働スクエア東京で実施されました。審査先生は本部幹事長遠藤精岳先生と埼玉岳精会長小林龍昭先生。受審者数は一〇一人でした。審査終了後の講評では、「両先生から、全体としてレベルは着実に上っているが、特に入会年次の若い層の実力向上が著しい」と嬉しいご指摘をいただきました。当会の前途に大きな希望を抱かせる心強いご講評。遠藤先生の言葉「吟友は宝」をモットトに、これからもお互い切磋琢磨を重ねていきましょう。

昨年九月の入会で、小生にとつては初めての昇伝審査。当日、労働スクエア東京の会場は緊張感に溢れており、久し振りで味わう雰囲気でした。

小生は、「仲秋無月母に侍す」を未熟ながら吟じましたが、遠藤先生から、一茶の「かたつむりそろそろのぼれ富士の山」のお言葉をいただきました。これからの吟

私と吟の出会いは小学校の時。子供の頃から剣舞を習っていた担任の先生の指導を受けて、学芸会でクラス全員で中江藤樹の詩吟で剣舞をやったのが最初です。それ以来、漢詩が好きになり、NHKの「漢詩紀行」は毎回必ず見ていました。吟を聞くことは大好きなのですが、吟ずることが苦手なのが悩みの種。それはともかく、今日は初伝の審査。姿勢を正し、大きく口を開け、お腹に力を入れる——頭の中では一つひとつ反芻しながら二分間でした。

何事も成し得ぬままに過ぎゆけど一吟終えて心やすまるまで、これからも精進していきたいと思つております。

私と吟の出会いは小学校の時。子供の頃から剣舞を習っていた担任の先生の指導を受けて、学芸会でクラス全員で中江藤樹の詩吟と剣舞をやったのが最初です。それ以来、漢詩が好きになり、NHKの「漢詩紀行」は毎回必ず見てるほどです。

吟を聴くことは大好きなのですが、吟ずることが苦手なのが悩みの種。それはともかく、今日は初伝の審査。姿勢を正し、大きく力を入れて頭をあけ、お腹に力を入れる。頭の中で一つひとつ反芻しながら二分間でした。

何事も成しえぬままに過ぎゆけど一吟終えて心やすまる。本部の先生のご指示を教訓として、これからも精進していきたいと思つております。

自分なりに或る程度の詩吟脇がある。そこで上ることはなかつたが、吟じ出しが上すべりになつてしまふ癖は直らない。そして、不安に観られ自信がなくなつた。今回の結果はどうであつたろうか。音程が一定していなかつたような気がする。だが……。出だしが單調で味がないとの指摘を受けたが、そんな余裕はないのかつたといふのが本音である。

希望は、審査中、受審者と正対したかった。背中が見えるだけでは吟じてゐる姿勢がわからず、物足りない感があつた。

林教場長のお誘いで今年入会したが、幸いにも、教場には林先生を含めて三人の中学校の同級生がいる。それで、暖かく迎えてくれたのでスナリと詩の世界に入れた。

それから四ヶ月、昇伝審査会に出て、審査先生の前で吟じるよう

林教場長のお誘いで今年入会したが、幸いにも、教場には林先生がいたのでスムーズに暖かく迎えてくれた。ナリと詩吟の世界に入れた。それから四ヵ月、昇級審査会に出で、審査先生の前で吟ずるよう言われて戸惑つた。審査会場で、他教場の人達の吟を聴いているうちに不安な気持ちになつたが、審査先生の前に立った時には、何とか落ち着いて最初の一聲を出すことができた。そして、無事(?)吟は終つた。何時まで吟を続けられるかわからぬといが、毎年昇級審査を受けれるよう努力していきたい。

緊張した昇伝審査ハザマ教授提

遊佐
憲

私は、李白の「山中幽人と対す」を何とか暗譜で吟ずるこ

丸の内第二教場　山口　隆久

普段の練習の大切さを痛感
東陽町教場 永岡 清春

落ち着いて出でた最初の尾張声
希望は、審査中、受審者と正対したかった。背中が見えるだけで、足りない感があつた。
う癖は直らない。そして、不安に駆られ自信がなくなる。今回の結果はどうであつたろうか。
一定しているなかつたような気がしれないとの指摘を受けたが、そんな余裕はなかつたというのが本音である。

わがかおりを残さない
清水教場 寺沼 達夫

子供の頃は、成人するまで生の虚弱体質だった。ところが、六年生の時、近所に越して来ました男の子に水泳を教わり、それまでの力不足を赶上し、川で飽き足らずに荒川に遠征、川の横断や橋からの飛び込みに熱中しました。以後、体質が飛躍的に向上し、中学では、水泳部で皆勤賞を貰うまでになつた。また、中学四年からは滑空部に移り、雨天以外の休日はすべて訓練に明け暮れた。この水泳と滑空の現在の私があると思う。自転車乗車と自家製ヨーグルトの飲用程度である。

一人ひとりの心に深い感銘

岳精流日本吟院「全国吟道大会」

六月二十七日(日)に、平成十一年度「岳精日」本吟院「全国吟道大会」が川崎市教育文化会館で開催され、当千代田岳精会から一二人参加しました。大会には、当会から次の方々が出吟し、日頃の研鑽の成果を

先導で拍手も多め、期待の合吟、コ
ンクール！ 我が千代田チームは、
精氣。 声量は圧倒したのですが、
張り切り過ぎて惜しくもいさか
乱れありとの評。 もう一步の四位
でしたが、「来年が楽しみ」との
磯田副会長の言、宜なるかな。
有意義で楽しい一日でした。

全員合吟「漢江」杜牧

(参考者) (参加二十六チーム中)
一〇名
井口義樹、吉崎泰史、鈴木

細重井
井成出
一、茂
雄林樹
、
村治岩
上一、泰
恒道、福
島武夫才
渢谷

・ 飯辰夫・林季夫文、西川宗信
田龍鷹・「事に感ず」于瀆
・ 磯田赳山・「中庸」元田東野
・ 福島赳山・「中庸」元田東野
(会長支部長吟詠に参加)
(本部役員吟詠に参加)
・ (構成スライド吟詠)
磯田眞風・「無心」良寛
・ 一旅人のうたに参加
なお、大会運営では、会場係
のチーフを担当。チームワーカー
よく無事大任を果たし、本部か
ら感謝の言葉を頂きました。

新古今の名物に新しい感激
ハザマ教場 羽生田嘉重

全国吟道大会出席は、三回目です。初回は合吟の豊かさと統一された服装美、昨年は特別企画南洲翁に深い感銘を受けました。今回は、僅か三名で格調高く吟じ上げて、何より競説の醍醐味を味わわせて貰った札幌チーム、宗家吟ずる「祇園精舎」の詩舞、「旅人」の舞台に一能の匂いを感じた」との初参加の先輩の名評等、新しい感激が生まれました。合吟「漠江」は、飯田会長の名

(宗家の言葉から
全国吟道大会にて)

「禮」と「節」この二文字は吟劍詩舞の支柱。

大会当日、私は会場の警備係を仰せつかつており、精神的に余裕のある見学は出来ませんでした。多くの参考になる場面の中で、幼少年の部で優勝した少女(岳精)

少女の岭に教えられる
千代田第一教場 江口精五郎

千代田支部の首脳お二人の入魂の吟詠唯々陶酔です。長年鍛えた喉をご披露の本部役員の方々も、会場を埋めた北は函館から南は沖縄まで遠路ご参加の男女会員の皆さんも、ご年配の方が多いのですが、日頃の鍛錬の成果か、背筋のピンと伸びた姿勢も若々しく、老人力を感じさせられ了一日でした。

詩吟を習い始めて半年。難しさが身に沁みて分かってきました。全国吟道大会は、宗家をはじめ高段の方々の吟詠に初めて接する機会と楽しみにしていましたが、運悪く義父の法事と重なり、前半を欠席。合吟もコンクールも聞くことができず、飯田会長の吟詠あたりから拝聴しました。磯田副会

老人力を感じさせられた一日
丸の内第二教場 八田 豊

の成果と反省を感じた瞬間でした。庄巻の「旅人のうた」に肝銘。宗家の「心に太陽をもて」の感動的な祝吟に、「さらなる目標に向つて吟唱力の向上を図ることを誓った一日でした。

「神田教場」
「豈堂講會」
「不文吟行會」

教場だより

翌七日は、雨天でしたが、四台の車を連ねて榛名湖へ向い、四湖畔の記念公園で高峰三枝子が歌いヒットした「湖畔の宿」を郡司龍蔵先生（奥様）が用意されたCDに合わせて合唱しました。その後、竹久夢二の記念館見学と水沢寺参詣。続いて門前館の水沢うどんに舌鼓を打ちました。

連絡が行なわれ、生の交感の力をお骨に折りこむことで、素體も良くなりまし
た。吟行会参加者九名は、改めて吟縁の有難さを噛みしめておられます。
(福島武夫)

「ちよだ」第五号をお届けします。今回は、昇伝審査と全国吟道大会を中心に編集しましたが、次回は、武道館大会特集の予定です。「五十人一心一声」晴れの舞台での凱歌を信じ、心を一つに頑張りましょう。